

研究・調査報告書

報告書番号	担当
76	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and risk for stroke among Chinese men. 中国人男性におけるアルコール消費と脳卒中のリスクとの関連について	
執筆者	
Bazzano LA, Gu D, Reynolds K, Wu X, Chen CS, Duan X, Chen J, Wildman RP, Klag MJ, He J.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Ann Neurol. 2007 Dec;62(6):569-78.	
キーワード	
飲酒、中国人男性、脳卒中、死亡	
要旨	
<p>目的： 中国人において脳卒中は死もしくは長期的障害を引き起こす原因である。本研究の目的は、中国人男性におけるアルコール消費と脳卒中のリスクとの関連について評価する事である。</p> <p>方法： 調査開始時には脳卒中を起こしていない中国人男性、年齢は40歳もしくは40歳未満を64338人対象としコホート研究を実施した。1991年に標準化プロトコールを使用し、飲酒の頻度と飲酒の種類を情報収集した。追跡の評価は1991年から2000年にかけて、バイタルサイン、対象者または代理人への問診、治療歴、致命的な脳卒中の有無などを含めて調査した。</p> <p>結果： 493,351人年の追跡調査で、3,434の脳卒中があった（そのうち1,848ケースが死亡）。年齢、BMI、活動量、都市部の居住（都会か田舎かどうか）地理的変動（北部か南部かどうか）、喫煙、糖尿病歴、教育などを調整し、飲酒習慣のないものと比較すると、脳卒中の発生は（95%信頼区間）1～6杯/週の飲酒者で0.92(0.80-1.06)、7～20杯/週の飲酒者では1.02(0.93-1.13)、21～34杯/週で1.22(1.07-1.38)、そして35杯/週もしくはそれ以上の飲酒者(線形トレンドP値 < 0.0001)では1.22(1.08-1.37)であった。脳卒中により死亡との関連は各々、0.93(0.76-1.14)、0.98(0.85-1.13)、1.15(0.95-1.38)、1.30(1.11-1.52)で各々(線形トレンドP値 = 0.0004; 二次傾向P値 = 0.03)であった。</p> <p>まとめ： これらの結果は中国人男性において過度の飲酒は脳卒中のリスクを上昇させる事を示唆し、予防に対する戦略とすべきことを明確にした。</p>	